

活動紹介

～清掃奉仕活動を通じたきれいな奈良県づくり～



有限会社環境処理センター

有限会社 環境処理センター

代表取締役

丸山 博雪

所在地

御所市大字三室607番地の1

設立年月日

昭和48年8月31日

従業員数

29人

主な事業

し尿の処理・運搬

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬

下水道管の保守、点検、清掃、維持管理等





令和3年4月～ 御所市の家庭系ごみ収集運搬業務を受託

市内の家庭ごみを収集するコースのあちらこちらにごみが散乱している様子を目のあたりにしたことをきっかけとして、収集作業終了後の休憩時間を利用して、同年10月頃から清掃奉仕活動をはじめました。



家庭系ごみの収集を担当している従業員を中心に、毎週木曜日に道端や川の土手に落ちているごみ拾いを続けています。



主に市内の道路や葛城川、曾我川、満願寺川、鎌田川などの河川沿いで清掃奉仕活動を行っており、周辺住民から感謝や労いの声を頂戴しています。

従業員の声-1

- ペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻などが特に多い。
- 人目につきやすいところは、ごみが少ない。
- 車通りが多くて人気が少ない場所にごみがよく捨てられている。車などから投げ捨てていると想像する。
- ごみを拾っても拾っても、また同じ場所に捨てられる。片付けている人がいることに気づかず、きっと同じ人が何度も繰り返し捨てているのだと思う。
- せっかく掃除をしてもすぐにごみが捨てられて無力感を感じるが、自分たちがごみを拾わなければ、もっと汚い状況になっている。

従業員の声-2

- 自分たちがごみ拾いをしている姿を見て、ポイ捨てをやめようという気持ちになってほしい。
- ポイ捨ては悪いことだという意識をもっと市民に持ってもらいたい。
- 生い茂っている草むらなどにごみを捨てる人が多く、雑草などの処理を行うことも必要だと感じる。
- ごみ拾いも大事だが、まずポイ捨てさせないようにすることが肝心だ。
- ポイ捨てしている人を見かけたら注意したり、みんながまちを綺麗にしようとする環境づくりが大切だ。



清掃奉仕活動を通じて感じることは、地域を愛する人たちが思いを共有し、清掃活動に取り組む住民・企業・団体が協力しあえば、もっと美しく快適なまちづくりが実現するのではないかと思います。



環境処理センターでは、本業である廃棄物の収集運搬を通じてだけでなく、清掃奉仕活動を日々実践しています。

従業員たちは、週に一度のごみ拾いを続けることで、地域社会から応援される企業として、共に成長することを目指しています。



不法投棄やポイ捨てを「しない」「させない」「ゆるさない」
機運を高め、環境美化運動に対する意識啓発に行政と協働して
取り組むことで、活動の輪がまちぐるみに広がることを願って
います。

私たちが暮らす御所市そして奈良県の恵まれた自然環境と快適な生活環境を維持するため、地域社会の一員として、環境美化に貢献してまいります。



みんなで力をあわせ
美しい奈良県づくりを
推進しましょう！



有限会社 **環境処理センター**